

科目名	中世文学講読Ⅱ	
担当者	山崎 桂子 / YAMASAKI, Keiko	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	『徒然草』を演習形式で読む。『徒然草』に描かれた兼好の美意識・教養・趣味・思想・説話を自分なりに味読・鑑賞する。また、変体仮名を読むことに挑戦し、古典を原典から読む醍醐味を味わう。古写本の知識を得る。
	到達目標	1) 手引きを使って変体仮名が読めるようになる。 2) 本文校訂ということを知る。 3) 参考文献を用いて各段の内容を理解し、自分なりの解釈と意見を述べられる。
授業計画	(1) 文字の歴史・仮名について、変体仮名の読解練習① (2) 概説（時代背景・随筆・兼好・書名）、変体仮名の読解練習② (3) 〃（成立・内容・伝本・古注釈書・正徹本）、担当段と日程の調整 (4) つれづれなるままに（演習モデル）、参考文献紹介 (5) 変体仮名の読解練習③ (6) 演習（以下、受講者が好きな段を担当し発表、質疑応答） (7) 演習 (8) 演習 (9) 演習 (10) 変体仮名の読解練習④、パロディの作成 (11) 演習、パロディの発表と講評 (12) 演習 (13) 演習 (14) 補遺、仮名テスト (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・毎回、宿題として出された変体仮名を手引を用いて翻字してくる。
	事後学習	・演習で指摘された不備・問題点を解決する。 ・関連した知識や情報を調べて更に理解を深める。
使用教材・参考文献	【教】 稲田利徳編『校注徒然草』和泉書院 1987年 【参】 安良岡康作『徒然草全注釈上・下』角川書店 1967年 【参】 新編日本古典文学全集『徒然草他』小学館 1995年	
成績評価方法と基準	<基準> 演習資料の作成、発表、質疑応答が出来、変体仮名が読めるようになれば合格とする。 <方法> 演習（50%）、仮名テスト（40%）、受講態度（10%）	
備考	毎回、古語辞書を持ってくること。	